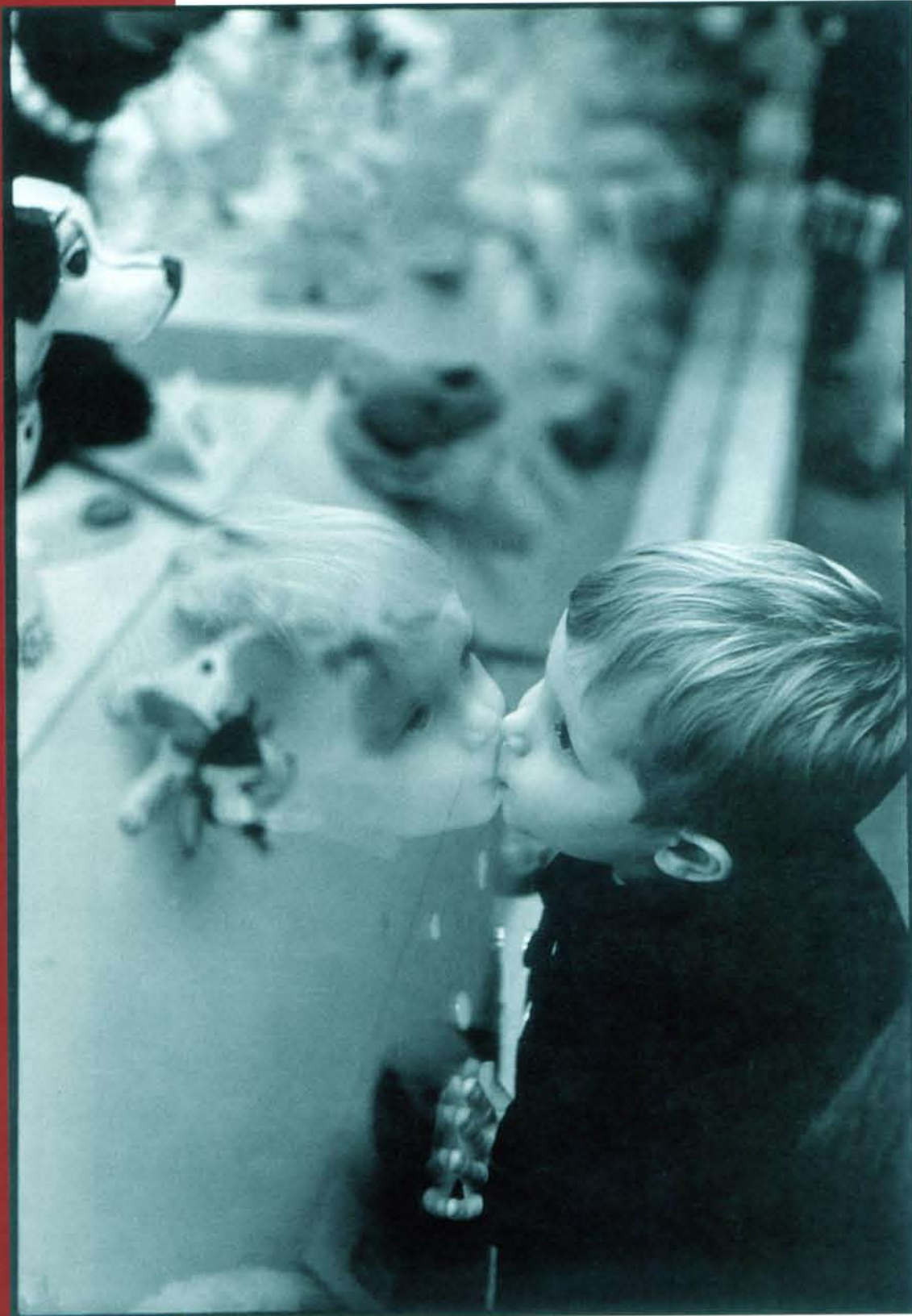


50 ans de photographie à Paris : YOSHI TAKATA

メモワール高田 美の50年

2003.1.18(sat)-2.23(sun) / 東京都写真美術館3階展示室



クリスマス前夜に 1961 ©Yoshi Takata

■開館時間
10:00-18:00
(木・金は20:00まで/入館は閉館の30分前まで)
毎週月曜日休館

■入場料
一般500(400)円
学生400(320)円
中高生・65歳以上250(200)円
*()内は20名以上の団体および
三越カード・アトレカード会員割引料金
*小学生以下および身体に障害をお持ちの方
とその介護者1名は無料
*第3水曜日は65歳以上無料
*東京都写真美術館友の会会員は無料
主催：高田美写真展実行委員会(03-3436-4155)
共催：東京都写真美術館
後援：フランス大使館
協賛：ビエール・カルダン ジャパン株式会社
日本航空株式会社
協力：学校法人 文化学園 / 財団法人 草月会
NHK / 株式会社 絶対空間

50 ans de photographie à Paris : YOSHI TAKATA

メモワール 高田 美の50年

1950年代半ばから、フランスのファッションデザイナー・ピエール・カルダンの片腕として活躍してきた高田美。彼女はまた、ロベール・ドワノーやアンリ・カルティエ・ブレッソンといった写真家を日本に紹介するなど、日仏文化の橋渡しとして活動してきました。そして自身も、54年に木村伊兵衛がパリを訪れた際に通訳をしたことをきっかけに写真を撮ることを勧められ、カメラを手にし、写真の世界へと足を踏み入れました。この展覧会では、パリの街角やひとびとをはじめ、パリで出会ったさまざまなアーティストたちの素顔や世界中をめぐる旅のスナップ、そしてモード写真の軌跡などを精緻な構図で表現した、高田美の50年にわたる写真作品100余点を展示します。



ピエール・カルダン 1966年秋冬コレクションより(宇宙服ライン) ©Yoshi Takata

高田美 (たかた・よし) Yoshi Takata

- 1916年 東京生まれ
- 1934年 フランス通信社(AFP)東京支局の通訳兼助手として入社
ジャーナリストの世界に入る
- 1954年 渡仏 日本新聞や雑誌などに記事と写真を送りながら、一方でカルティエ・ブレッソン、ドワノー、エデュワール・ブルーバ、ブラッサイ、デイヴィッド・シモア等と親交を結ぶ
- 1955年 新進気鋭のデザイナー ピエール・カルダンを取材し、高い評価を受ける 以降、彼の発表する作品の撮影を任されるが、屋外での斬新なロケーションや即興的なモデルとのコラボレーションなど、当時のモード写真に新風を吹き込んだ
- 1957年 カルダンの初来日に同行、熱狂的歓迎ぶりをカメラに収める
- 1965年 カルティエ・ブレッソンの初来日にともなう日本のルポルタージュをプロデュース
- 1973年 単行本「パリ20区」刊行
- 1975年 東京にて同名の写真展開催
- 1985年 フランス政府より芸術文化勲章を叙勲
- 1989年 パリ市よりパリ名誉市民を叙勲
- 1991年 パリにて写真展「le présent du passé」を開催
- 1992年 パリ国立図書館に作品がコレクションされる
- 1994年 東京にて写真展「パリ20区」開催
- 1995年 写真集「パリの記憶」刊行
- 2000年 パリの日本文化会館において写真展「Regards de Yoshi Takata」開催



お問い合わせ＝東京都写真美術館(恵比寿ガーデンプレイス内)
TEL.03-3280-0099 URL:http://www.tokyo-photo-museum.or.jp



空戦ライカを藤田嗣司(画家)に説明する木村伊兵衛(写真家)、後に横山泰三(漫画家) 1954 ©Yoshi Takata



マンレイ(写真家) 1959 ©Yoshi Takata



カブリに出来たてのバケットを運ぶお嬢さん 1960 ©Yoshi Takata



コンシェルジュ(門番)と犬、パリ 1977 ©Yoshi Takata